

w臨床研究に関する情報公開

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針>に基づき、研究の実施について下記のとおり情報を公開します。

研究結果は学会等で発表される事がありますが、その際も個人を特定する情報は公表しません。

★本研究の対象となられる患者さんで本研究にご賛同いただけない方や、研究計画、研究方法、または個人情報の取扱いなどについてお問い合わせがある場合は、下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。

★研究不参加を申し出られた場合も、不利益を受けることはありません。

<研究課題名> 心房細動における僧帽弁輪部石灰化の影響に関する研究
<研究機関・研究責任者名> 日本大学医学部附属板橋病院 循環器内科 (研究責任者)相澤 芳裕
<研究期間> 承認日 ~ 西暦 2020年 12月 31日
<研究の目的と意義> 心エコー検査を行うと僧帽弁(左心房と左心室の逆流を防ぐための弁)の一部に石灰化が見られることが少なくありません(8~15%程度)。この所見がある方は、無い方に比べて脳梗塞を起こしやすいという報告がありますが、その原因には諸説があり、その一つに心房細動になりやすいためだという報告があります。また心房細動の方が脳梗塞を発症する危険性は CHA ₂ DS ₂ -VASc スコアという指標で評価されます。心房細動と診断されている方において、僧帽弁の石灰化が心臓の機能や脳梗塞の発症リスク(CHA ₂ DS ₂ -VASc スコア)に対してどのような影響を及ぼすかについては明らかではありません。 この研究では、心房細動の方にとって僧帽弁の一部の石灰化が心臓の機能や脳梗塞の発症に及ぼす影響に関して研究を行います。
<対象となる患者さん> 西暦 2013年 1月 1日~西暦 2017年 2月 28日の期間に経食道心エコー検査および経胸壁心エコー検査を受けられた、心房細動と診断された方。
<研究の方法> 対象の方の心エコー検査の結果をもとに僧帽弁の一部の石灰化がある方と無い方を分け、心エコー検査の結果や脳梗塞の危険因子となる病気を持つ割合、血液検査の結果などにどのような違いがあるかを解析します。
<お問い合わせ窓口> 日本大学医学部附属板橋病院(東京都板橋区大谷口上町 30-1) 循環器内科 氏名:相澤 芳裕 電話:03-3972-8111 内線:(医局)2412 (PHS)8941 研究への参加を希望されない方はいつでも参加を拒否することができます。